取扱説明書

S-DJ08
S-DJ05

DJ/プロデューサー用
アクティブリファレンススピーカー

このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」は、「保証書」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意

- 安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⦸ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置

万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災･感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り､必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は､電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードの上に重い物を載せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより､それに気付かず､重い物を載せてしまうことがあります。

アース (接地) を確実に行ってください。
電源コードには､感電を防ぐためのアース線があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をアース接続してください。確実にアース接続しないと、感電の原因になります。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとで行なってください。

接地接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、ラックなどに入れるときはすき間をあけてください。この機器は縦置きのみで使用してください。また､次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あおむけや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
- じゅうたんやふとんの上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。

着脱式の電源コード（インレットタイプ）が付属している場合のご注意：
付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合､発熱により火災･感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

使用環境

コントローラーのケーブル、Link ケーブルを人が通るところなど引っ掛かりやすい場所に這わせないでください。つまずいて転倒したり、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。

この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災･感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災･感電の原因となります。

表示された電源電圧（交流 100 ボルト、50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

お取り扱いにお困りのとき、本書の巻末をご覧ください。

http://www.prodjnet.com/support/

上記の弊社ホームページでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、より快適に製品をお使いいただくための各種情報やサービスを提供しております。

使用方法

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

本機は、天井や壁に取り付けないでください。本機が落下し大けがをすることがあり大変危険です。

⚠ 注意

設置

電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

次のような場所には設置しないでください。
→ 直射日光のあたる場所、暖房器具に近い場所。
→ 風通しが悪く、湿気やほこりの多い場所。
→ 振動や傾斜のある、不安定な場所。
→ アルコール類やスプレー式の殺虫剤など、引火性のものを使用する場所。
→ カセットデッキなど、磁界に影響される機器の近く。

チューナーのアンテナケーブルから離して設置してください。
→ 近くに置いた場合に雑音が出ることがあります。このようなときはアンテナやアンテナケーブルから本機を離してご使用になるか、やむを得ない場合は本機の電源を切ってください。

本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

テレビ、オーディオ機器、コントローラー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

スタンド等に取り付けてご使用の場合も、ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

取付金具やスタンド等を使用する場合は、十分な安全性を確保できるだけの強度があることを必ずご確認ください。また不安定なスタンドを使わないでください。

取り付け後は必ず安全性を確認してください。また、その後も定期的に安全性を確認してください。

使用方法

本機のダクトやすき間から金属や紙片などの異物を入れないでください。感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本機のダクトやすき間に手や指を入れないでください。けがをするおそれがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。

電源を入れる、または接続を変更する前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

大きい音量で長時間聞いていると難聴になる可能性があります。気をつけてください。

保守・点検

5 年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。

設置場所について

- 熱を発生するアンプなどの上に直接置いたり、スポットライトなどの近くで長時間使用すると、本体に悪い影響を与えますので、おやめください。
- チューナーやテレビから離して設置してください。近くに置いた場合は、雑音が生じることがあります。なお、雑音は室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは、屋外アンテナを使用するか、本機の電源を切ってください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で 5 ～ 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

本機の使用環境について

本機の使用環境温度範囲は5 ℃～35 ℃、使用環境湿度は85 %以下(通風孔が妨げられていないこと)です。
風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光(または人工の強い光)の当たる場所に設置しないでください。

D3-4-2-1-7c_A1_Ja

組み立て、取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などには気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも 1 つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

S-DJ08 は、JIS C 61000-3-2　に適合しています。

はじめに

本機の特長

DJing・Producing・Listening すべてのシチュエーションにおいて、1 セットのスピーカーで音を聴くことができます。

DJing・Producing・Listening すべてのシチュエーションにフィットした音質に変化させることができます。

音量調節、MUTE ON/OFF、電源 ON/ スタンバイ、EQ ON/OFF、入力切換を、お手元のコントローラーで左右のスピーカーを同期させて操作できます。

付属品を確認する

- 電源コード x 2
- Link ケーブル x 1
- コントローラー x 1
- ゴムフット x 8
- 保証書
- サービス窓口のご案内
- 取扱説明書（本書）

設置する

設置方法

スピーカーの再生音は、リスニングルームの条件によって微妙な影響を受けやすいものです。最適な状態でご使用いただくために、スピーカーを取り付ける前に設置場所を十分検討してください。

注意

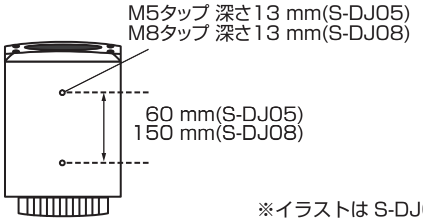
・本機を設置する場合は、放熱を良くするため他の機器や壁などから十分な間隔をとってください (天面 30 cm 以上、後面 30 cm 以上、右側、左側各 30 cm 以上)。本機と壁および他の機器との間隔がとれないと、内部に熱がこもり、性能不良や故障の原因になります。

・耳の高さに設置してください。
・左右のスピーカーは視聴位置に対し、等距離で左右対称になるように設置すると自然なステレオ感が得られます。
・スピーカーは視聴位置から左右に 30°、計 60° の開き角となる位置に設置し、内側に向けてください。

ご注意

・放熱を良くするため、壁から 30 cm 以上離してください。壁に近すぎると、本機の周波数特性が乱れることがあります。

取付金具の取り付け方・寸法



※イラストは S-DJ08 です。

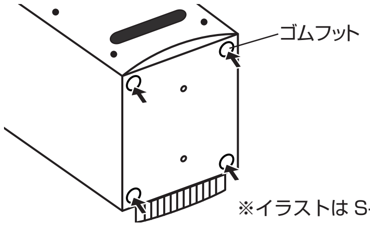
・本機は専用スタンドや取付金具およびネジ類は一切付属しておりません。必要に応じて適切な金具類およびネジ類をご用意ください。
・本機は図のように、底面 2 カ所にネジ穴があり取付金具を取り付けることができます。金具を使用する際は、本品の重量に十分耐えられるかご確認ください。また取付金具の取扱説明書をよくお読みください。本機が落下すると大けがをすることがあり、大変危険です。
・組み立て、取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

ご注意

・ネジは必要以上に強く締めると破損の原因となります。注意してご使用ください。

ゴムフットの取り付け

設置する場所に応じて、付属のゴムフットを使用してください。ゴムフットはスピーカーの設置する四隅に貼り付けてご使用ください。ただし、設置する場所によって、すべり止めの効果が不十分になることがありますので、すべりやすい場所には設置しないでください。



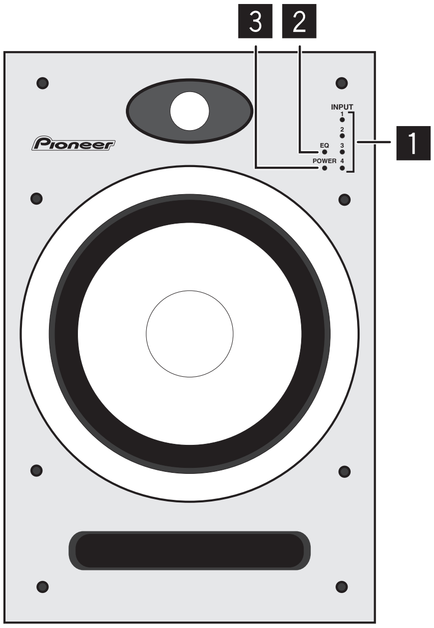
※イラストは S-DJ08 です。

ご注意

・傾けながらゴムフットの取り付け作業を行うことは大変危険です。キズのつかない柔らかい布などの上に寝かせて作業してください。

各部の名称と機能

本体前面部



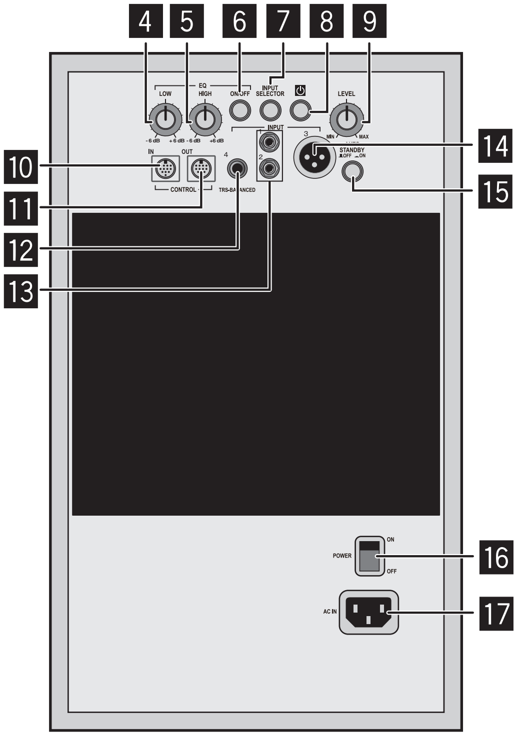
1 INPUT1 ～ 4 インジケーター
選択された INPUT が点灯します。ミュート（消音）時は選択された INPUT が点滅します。

2 EQ インジケーター
イコライザーが ON のときに点灯します。

3 POWER インジケーター / クリップインジケーター
スタンバイ時　：赤点灯
電源 ON 時　：青点灯
電源 OFF 時　：消灯
クリップ時　：ピンク点滅（点灯）
アンプがクリッピングを起こすとピンクに点滅(点灯)します。通常使用時は、ピンク点滅（点灯）しないように使用してください。ピンクに点滅（点灯）したら本機の音量 (LEVEL) を下げるか、または接続機器からの本機への入力レベルを下げてください。本機の音量 (LEVEL) を下げないで使用した場合、または接続機器からの本機への入力レベルを下げないで使用した場合は、本機が故障することがあります。

注意
製品の仕様により、本体部やコントローラー (付属の場合) のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ (遮断装置) をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くに、電源プラグ (遮断装置) に簡単に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

本体背面部



※イラストは S-DJ08 です。

4 EQ LOW つまみ
低音部の音質を調整します。EQ ON/OFF ボタンが ON のときに働きます。

5 EQ HIGH つまみ
高音部の音質を調整します。EQ ON/OFF ボタンが ON のときに働きます。

6 EQ ON/OFF ボタン
イコライザーを ON/OFF します。

7 INPUT SELECTOR ボタン
押すたびに、INPUT1 → 2 → 3 → 4 に切り換わります。

8 電源 ON/ スタンバイボタン
本機の電源 ON とスタンバイを切り換えます。ボタンを押すと電源が入り、もう一度押すとスタンバイ状態になります。

9 LEVEL つまみ
音量を調整します。コントローラー未接続時に働きます。

10 CONTROL IN
付属のコントローラーまたは付属の Link ケーブルを接続します。

11 CONTROL OUT
付属の Link ケーブルを接続します。

12 INPUT4
Phone タイプのバランス型入力端子です。

ご注意

・アンバランス型の Phone プラグがついているケーブルも使用できますが音量レベルは低下します。音量を上げたい場合は、TRS　Phone プラグがついているバランスケーブルをご使用ください。

13 INPUT1、INPUT2
RCA ピンタイプのアンバランス型入力端子です。

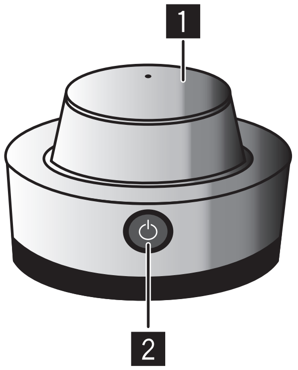
14 INPUT3
XLR タイプのバランス型入力端子です。端子のピン配列は 1 番グランド、2 番ホット、3 番コールドです。

15 AUTO STANDBY ON/OFF スイッチ
パワーセーブ機能を ON/OFF します。

16 主電源スイッチ
本機の主電源を ON/OFF します。

17 AC IN
コンセントと接続します。電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。必ず付属の電源コードをご使用ください。

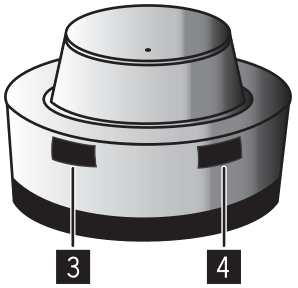
コントローラー前面部



■1 **LEVEL ダイヤル**
音量を調整します。

■2 **電源 ON/ スタンバイボタン**
本機の電源 ON とスタンバイを切り換えます。ボタンを押すと電源が入り、もう一度押すとスタンバイ状態になります。

コントローラー背面部



■3 **INPUT SELECTOR ボタン**
押すたびに、INPUT1 → 2 → 3 → 4 に切り換わります。

■4 **MUTE/EQ ボタン**
押すたびにミュート (消音) 機能を ON/OFF します。1 秒以上押し続けるとイコライザーを ON/OFF します。

接続する

機器の接続を行う場合、または変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。
必ず付属の電源コードをご使用ください。
本機の設置状況で Link ケーブルが短く本機どうしが接続できない場合は、市販の MINI　DIN　8a の延長ケーブルを Link ケーブルにつなげてご使用ください。

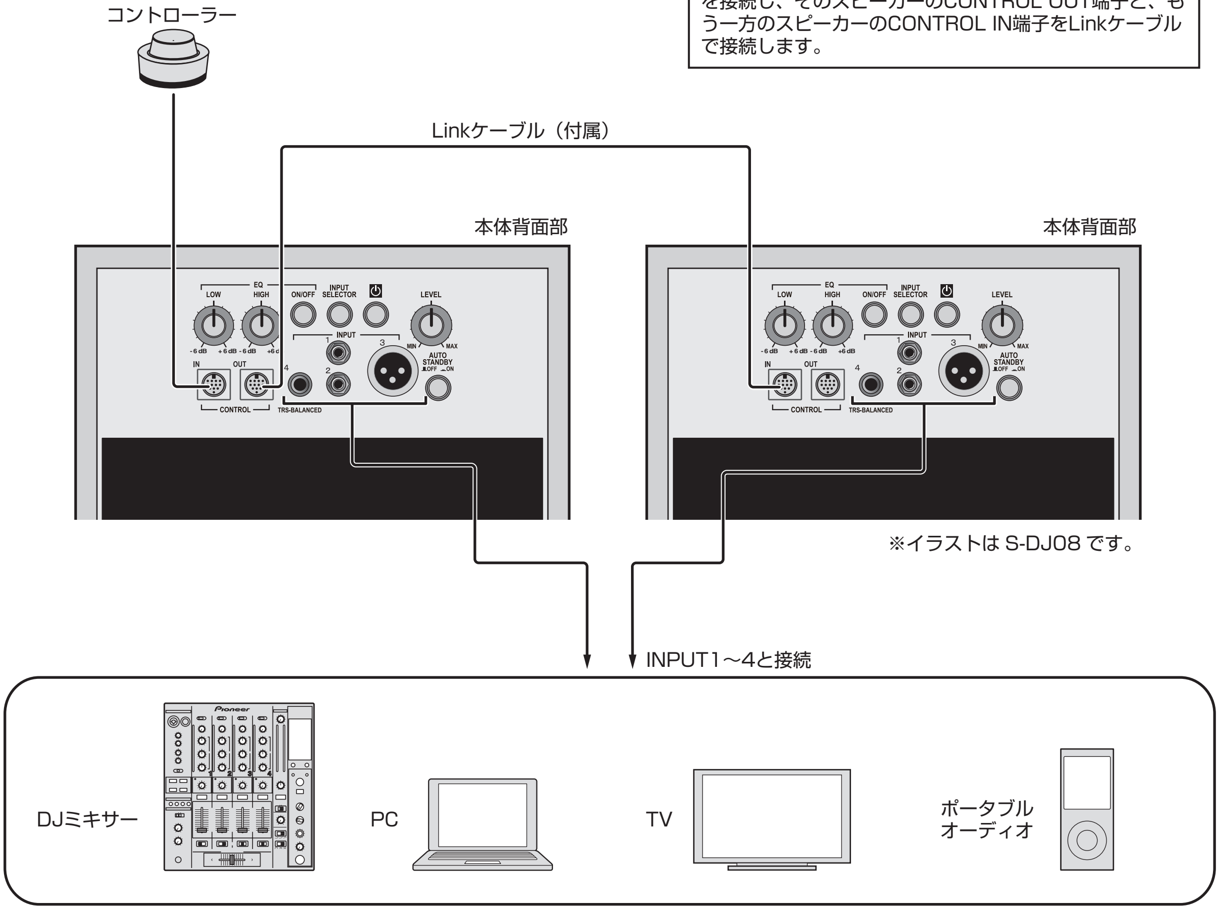
⚠ 警告

市販の MINI　DIN　8a のケーブルのみで接続しないでください。必ず本機付属の Link ケーブルは使用してください。本機の故障、火災、感電の原因となることがあります。

ご注意

・コントローラー、Link ケーブルをつないでいる場合は、本機の音量を MIN(最小、左回しきり) にしてください。コントローラー、Link ケーブルが本機から外れた場合に大音量が出ることがあります。
・コントローラーをつなぐ場合はコントローラーの LEVEL ダイヤルを MIN（最小、左回しきり）にしてください。その後に音量を調整してください。LEVEL ダイヤルを MIN（最小、左回しきり）にしていないと大音量が出る場合があります。
コントローラーをつないだ場合は、本機の LEVEL つまみは働かなくなります。

一方のスピーカーのCONTROL IN 端子にコントローラーを接続し、そのスピーカーのCONTROL OUT端子と、もう一方のスピーカーのCONTROL IN端子をLinkケーブルで接続します。



操作する

主電源を入れる

本体背面部の［主電源］スイッチを ON にする。

電源 ON/ スタンバイを切り換える

コントローラーまたは本体背面部の［電源 ON / スタンバイ］ボタンを押す。

入力を切り換える

コントローラーまたは本体背面部の［INPUT SELECTOR］ボタンを押し、入力を切り換える。

音量を調整する

❖ **コントローラー接続時**
[LEVEL] ダイヤルをゆっくり左右に回して調整する。

❖ **コントローラー未接続時**
本体背面部の [LEVEL] つまみをゆっくり左右に回して調整する。

ご注意

・本機に音源機器を２機種以上接続している場合：
入力を切り換える時に、それぞれの機器からの出力の大きさの違い等により、音量が大幅に変わる場合があります。音量を最小 (MIN：左回しきり) にしてから入力を切り換えてください。その後に音量を調整してください。

・接続する機器の出力レベルにより音が歪む場合があります。このような場合は、接続している機器の出力レベルを絞ってください。

・音量を上げた状態でイコライザーを＋側に調整した場合に音が歪む場合があります。このような場合は、音量を下げる、またはイコライザーを歪まない所まで調整してください。

・本機には自己復帰型の保護装置が内蔵されています。過大な信号入力によってウーファーまたはツイーターから音が出なくなった場合は、本機の音量 (LEVEL) か、接続機器からの本機への入力レベルを下げてしばらくお待ちください。保護装置は自動的に解除され、元の音量に戻ります。元の音量に戻らない場合は、本機が故障している可能性がありますので、裏表紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

ミュート（消音）機能を使う。

コントローラーの [MUTE/EQ] ボタンを押し、ミュート（消音）機能を ON にする。

イコライザーを設定する

本体背面部の [EQ ON/OFF] ボタンを ON にし、[EQ LOW] つまみ、[EQ HIGH] つまみにより音質を補正する。

イコライザーを使う

コントローラーの [MUTE/EQ] ボタンを１秒以上押し続ける、または本体背面部の［EQ ON/OFF］ボタンを押し、イコライザーを ON にする。

パワーセーブ機能

本体背面部の [AUTO STANDBY ON/OFF] スイッチを ON にする。

以下の条件をすべて満たしたまま６０分を過ぎると自動的にスタンバイ状態になります。

－ LEVEL ダイヤル、ボタン、つまみなどを操作していない。
－ 本機から－ 40 dBu 以上の音声信号が出力されない。

その他

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目を確認してください。また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、11 ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて 5 秒以上経ってから再び差し込むことで正常に動作することがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
電源が入らない。	電源コードが正しく接続されていますか？	電源コードをコンセントへ接続してください。(6 ページ)
接続している機器の 音が出ない、または音が小さい。	接続している機器は正しく設定されていますか？	機器の外部入力切換や音量を正しく設定してください。
	接続ケーブルが正しく接続されていますか？	接続ケーブルを正しく接続してください。(8 ページ)
	端子やプラグが汚れていませんか？	端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
	音量が正しい位置に設定されていますか？	コントローラー接続時は LEVEL ダイヤルを、コントローラー未接続時は LEVEL つまみをゆっくり右に回してください。
	選択している入力と接続している機器の入力端子が合っていますか？	接続している機器の入力端子に合わせた入力を選択してください。
	ミュート（消音）機能が ON になっていませんか？	コントローラーの MUTE/EQ ボタンを押してください。
	電源が ON になっていますか？	主電源スイッチおよび電源 ON/ スタンバイボタンを押してください。
音が歪む。	音量が正しい位置に設定されていますか？	コントローラー接続時は LEVEL ダイヤルを、コントローラー未接続時は LEVEL つまみを左に回し、音量を下げてください。
	接続している機器からの入力レベルは適切ですか？	接続している機器の出力レベルを正しく調節してください。
発振（大きな音が連続的に出る）する。	音量が正しい位置に設定されていますか？	コントローラー接続時は LEVEL ダイヤルを、コントローラー未接続時は LEVEL つまみを左に回し、音量を下げてください。
コントローラーが効かない。	コントローラーのケーブルが正しく接続されていますか？	コントローラーのケーブルを正しく接続してください。
コントローラーを使用しているのに 左右のスピーカーの音量が同じにならない。	コントローラーのケーブルが正しく接続されていますか？	コントローラーのケーブルを正しく接続してください。
	Link ケーブルが正しく接続されていますか？	Link ケーブルを正しく接続してください。
入力が切り換わらない。	コントローラーのケーブルが正しく接続されていますか？	コントローラーのケーブルを正しく接続してください。
	Link ケーブルが正しく接続されていますか？	Link ケーブルを正しく接続してください。
ミュート（消音）ができない。	コントローラーのケーブルが正しく接続されていますか？	コントローラーのケーブルを正しく接続してください。
	Link ケーブルが正しく接続されていますか？	Link ケーブルを正しく接続してください。
EQ ON/OFF ができない。	コントローラーのケーブルが正しく接続されていますか？	コントローラーのケーブルを正しく接続してください。
	Link ケーブルが正しく接続されていますか？	Link ケーブルを正しく接続してください。
EQ(音質調整) が効かない。	EQ が ON になっていますか？	本体背面部の EQ　ON/OFF ボタンを押してください。または、コントローラーの MUTE/EQ ボタンを 1 秒以上押してください。

愛情点検

長年ご使用のAV機器の点検を!

このような症状はありませんか		ご使用中止	
	・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ・電源コードにさけめやひび割れがある。 ・電源が入ったり切れたりする。 ・本体から異常な音、熱、臭いがする。	→	故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

K026*_A1_Ja

保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談

裏表紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

次のような場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。
- 本機を改造して使用した場合
- 不正使用や使用上の誤りの場合
- 他社製品や純正以外の付属品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。

故障、故障の修理その他にともなう営業上の機会損失 (逸失利益) は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本書の 10 ページの「故障かな？と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DJ/ プロデューサー用アクティブリファレンススピーカー
- 型番：S-DJ08、S-DJ05
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
  「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作で、どうなる」といった詳細
- 訪問ご希望日
- 訪問先までの道順と目標 (建物、公園など)

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

免責事項について

- Pioneer はパイオニア株式会社の登録商標です。
- その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。
- お客様がご用意した音楽ファイルを本機で再生するときは、その著作権を守ったうえでご利用いただけますようお願いいたします。

仕様

S-DJ08

形式.....バイアンプ 2 ウェイアクティブスピーカー / 防磁設計 (JEITA)

アンプ部

ダイナミックパワー（HF/LF）..70 W/170 W
入力端子（バランス入力）..... XLR × 1、TRS(1/4 inch Phone) × 1
入力端子（アンバランス入力）..RCA × 2
入力感度 / インピーダンス
.................................6 dBu/10 k Ω (XLR、TRS(1/4 inch Phone))
－ 3 dBu/10 k Ω (RCA)

スピーカー部

エンクロージャ ....バスレフ型
ウーファー..20 cmPP コーン
ツイーター.. 2.5 cm ソフトドーム
再生周波数帯域....................................43 Hz ～ 26 kHz（－ 10 dB）

電源部・その他

クロスオーバー周波数...5.8 kHz
消費電力 .... 100 W
外形寸法 ....250 mm (幅) x 391 mm (高さ) x 328 mm (奥行)
(ヒートシンク除く)
371 mm(奥行)
(ヒートシンク含む)
質量 (1 台) .... 13.5 kg

機能

入力切換、ミュート機能、クリップインジケーター、
EQ Low － 6 dB ～ +6dB、EQ High － 6 dB ～ +6 dB、EQ ON/OFF ボタン

S-DJ05

形式.....バイアンプ 2 ウェイアクティブスピーカー / 防磁設計 (JEITA)

アンプ部

ダイナミックパワー（HF/LF）..30 W/50 W
入力端子（バランス入力）..... XLR × 1、TRS(1/4 inch Phone) × 1
入力端子（アンバランス入力）..RCA × 2
入力感度 / インピーダンス
.................................6 dBu/10 k Ω (XLR、TRS(1/4 inch Phone))
－ 3 dBu/10 k Ω (RCA)

スピーカー部

エンクロージャ ....バスレフ型
ウーファー... 13 cmPP コーン
ツイーター.. 2.5 cm ソフトドーム
再生周波数帯域....................................50 Hz ～ 25 kHz（－ 10 dB）

電源部・その他

クロスオーバー周波数...3.0 kHz
消費電力 .... 45 W
外形寸法 ....185 mm (幅) x 301 mm (高さ) x 220 mm (奥行)
(ヒートシンク除く)
258 mm (奥行)
(ヒートシンク含む)
質量 (1 台) .... 6.7 kg

機能

入力切換、ミュート機能、クリップインジケーター、
EQ Low － 6 dB ～ +6dB、EQ High － 6 dB ～ +6 dB、EQ ON/OFF ボタン

共通

電源..AC 100 V、50 Hz/60 Hz
待機時消費電力（スタンバイ状態）.......................................0.5 W 以下

付属品

電源コード...2
Link ケーブル.. 1
コントローラー 1
ゴムフット...8
保証書
サービス窓口のご案内
取扱説明書（本書）

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

＜各窓口へのお問い合わせの時のご注意＞
「0120」で始まる フリーコールおよび フリーコールは、携帯電話・PHSなどからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■家庭用オーディオ/ビジュアル商品　0120−944−222　一般電話　044−572−8102

■ファックス　044−572−8103

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付窓口

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81028（ゴーハパイオニア）　一般電話　044−572−8100

■ファックス　0120−5−81029

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair.html

※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

沖縄サービス認定店（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098−987−1120

■ファックス　098−987−1121

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81095　一般電話　044−572−8107

■ファックス　0120−5−81096

平成22年10月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.041

© 2010 パイオニア株式会社　禁無断転載

パイオニア株式会社　〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

<DRA1458-A>